

NOMURA

Risk Management

グループ・リスク・マネジメント

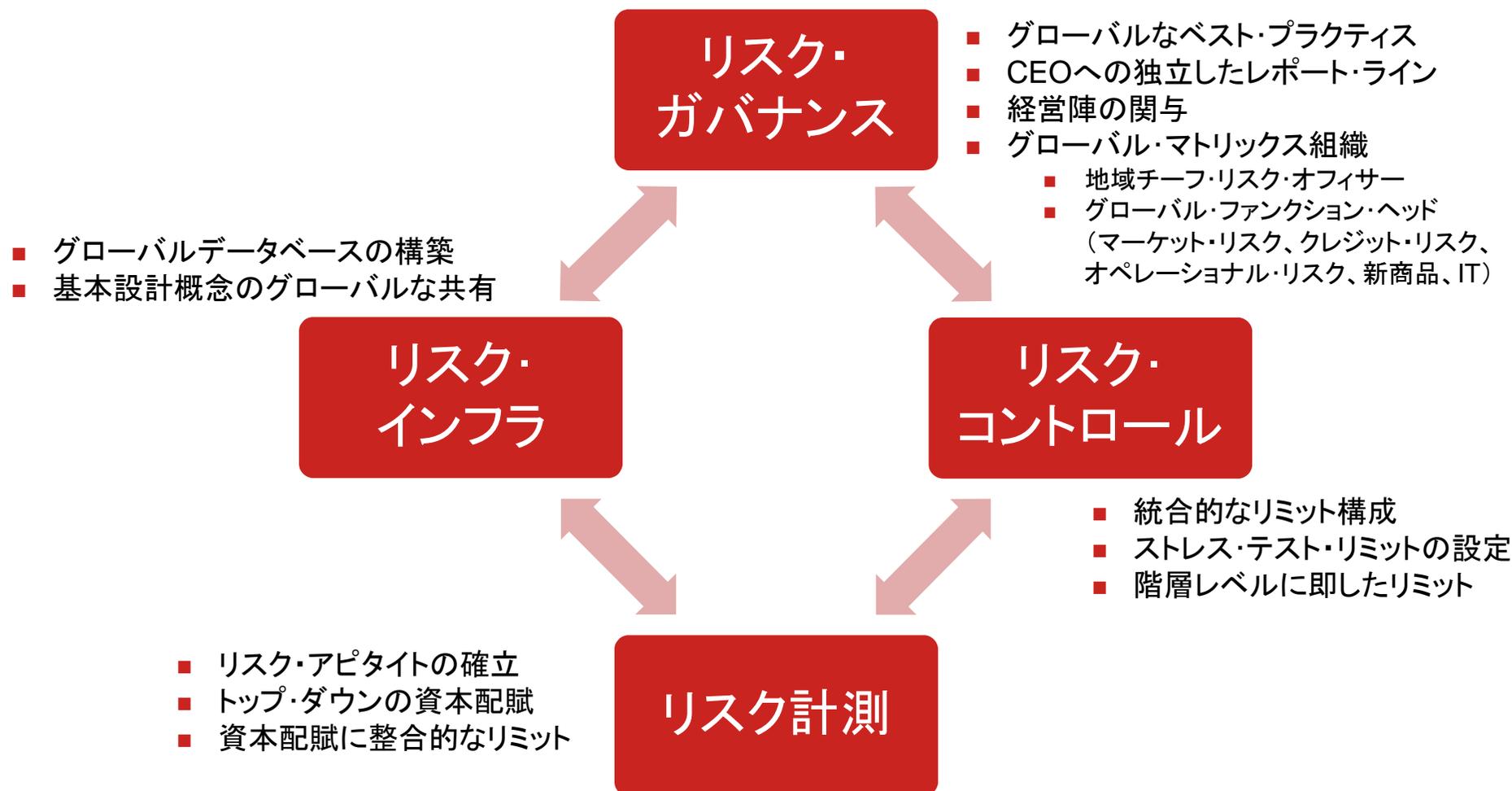
2010年5月10日

デイビッド・ベンソン
グループ・チーフ・リスク・オフィサー

アジェンダ

1. リスク・マネジメントの枠組み - 4つの柱
2. リスク・アピタイト(リスク許容度)
3. 経済資本の動向
4. 低流動資産の分析

1. リスク・マネジメントの枠組み - 4つの柱



2. リスク・アピタイト(リスク許容度)

- 野村グループのリスク許容度は統合リスク管理会議で審議、決定されます。リスク許容度はリスク・マネジメントの枠組みである経済資本のメソドロジーにより定量化されます。資本は経済資本の配賦によりビジネスへ配賦されます。

リスク・アピタイトの定義

定量的な計測	資本 / バランス・シート	現状	目標 / リミット
	規制資本比率	● 17.1%	● 10-12%
	長期信用格付け	● BBB	● Single A
	経済資本と ティア1の比率	● 38%	● 50%
	低流動性資産と ティア1の比率	● 54%	● 60%

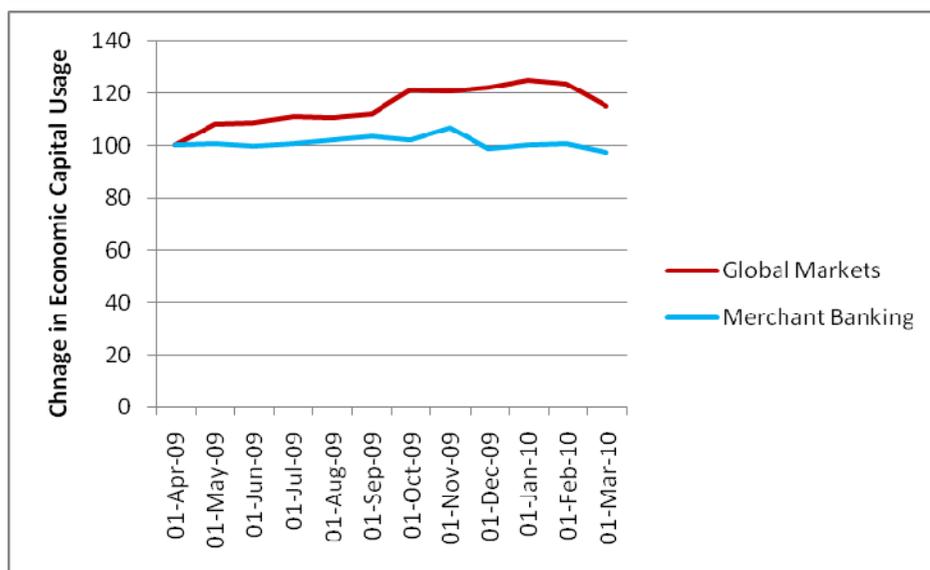
経済資本の定義

- 経済資本は様々なリスクから生じる不測の損失を補うために必要な資本を定量化。
- 経済資本は信頼区間99.95%での1年間の期待損失
- 異なるリスクを統合的に把握・集計。

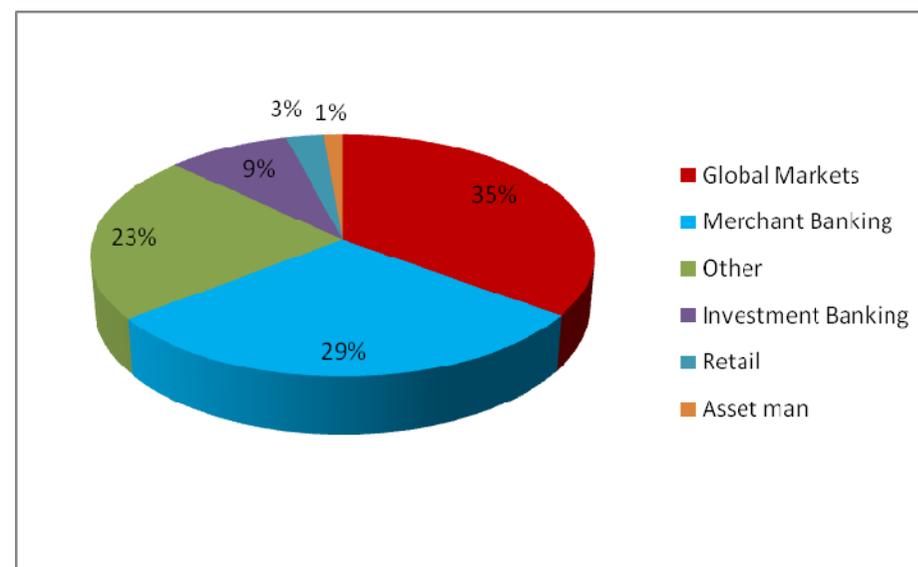
3. 経済資本の動向

ビジネス・ライン毎の経済資本

経済資本使用額の動向 (%)



2010年3月31日時点の経済資本の内訳



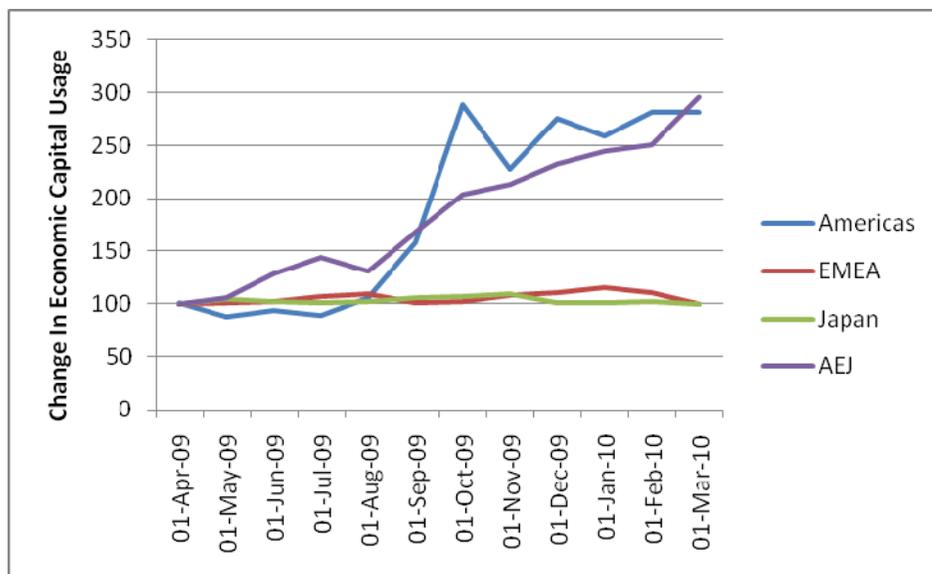
- グローバル・マーケットの経済資本使用額が増加
- マーチャント・バンキングの経済資本使用額が減少

- マーチャント・バンキングのバランス・シートは42億USD
- インベストメント・バンキングのバランス・シートは15億USD
- その他のバランス・シートは17億USD

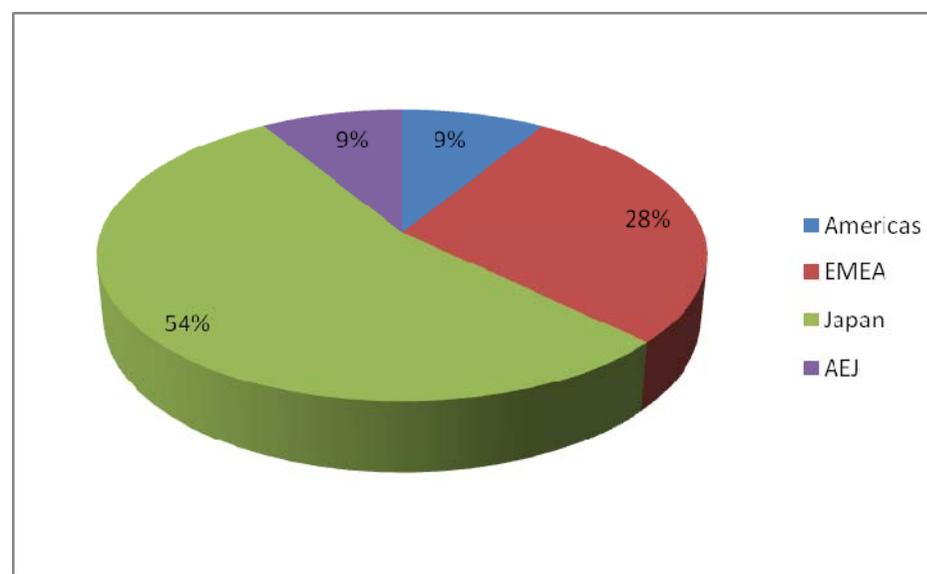
経済資本の動向

- リーマン・ブラザーズのビジネス承継もありEMEAの使用額が大きいものの、日本が引き続き最も多くの経済資本を使用しています。しかし、2009年以降日本の使用量は減少する一方、米国とアジア(日本を除く)のビジネス構築のため経済資本が再配分されています。

地域別経済資本使用額の動向 (%)



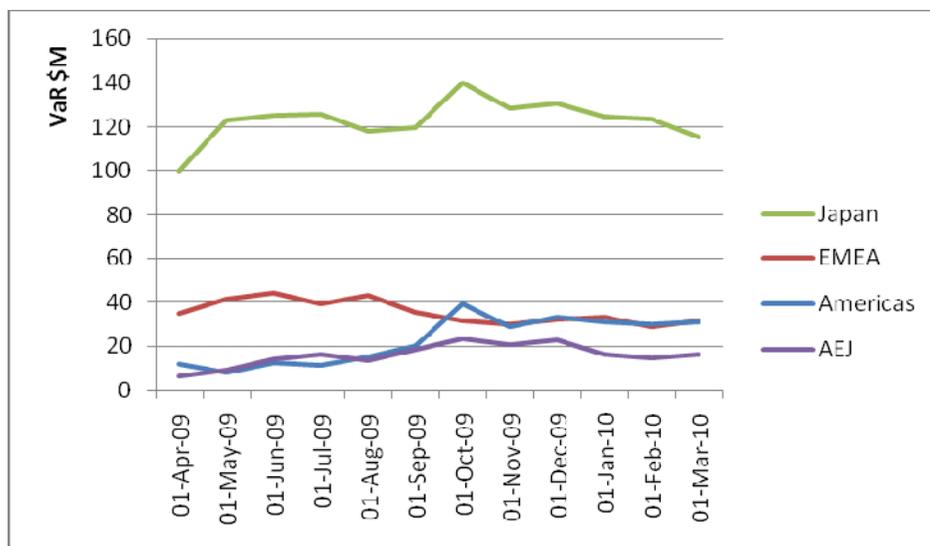
2010年3月31日時点の経済資本の内訳



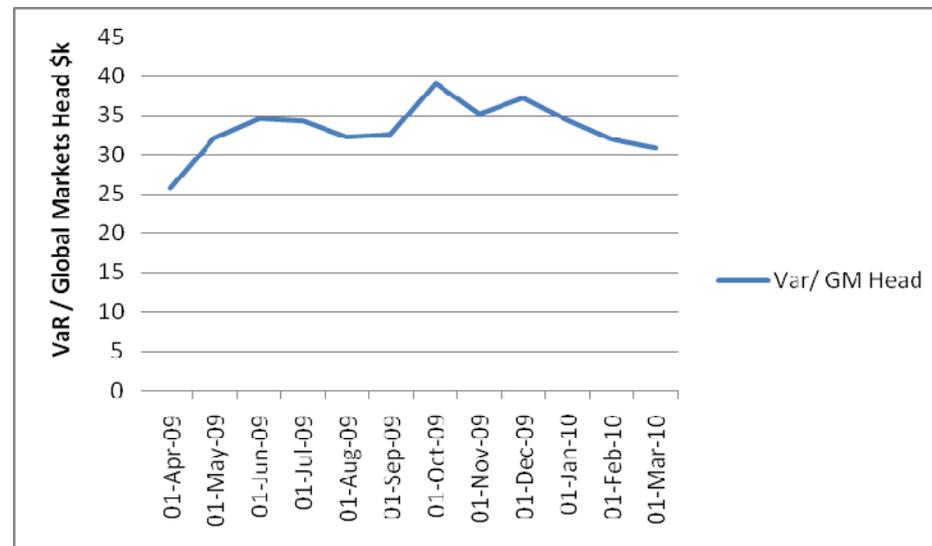
地域別のVaR、人員一人あたりのVaR

- グローバル・マーケットのVaRは、米国とアジア(日本を除く)への資本配賦に伴ない、日本とEMEAで減少し続けています。
- グローバル・マーケットの一人当たりVaRは2009年10月に比べて20%減少しました。

地域別VaRの分析 (百万USD)



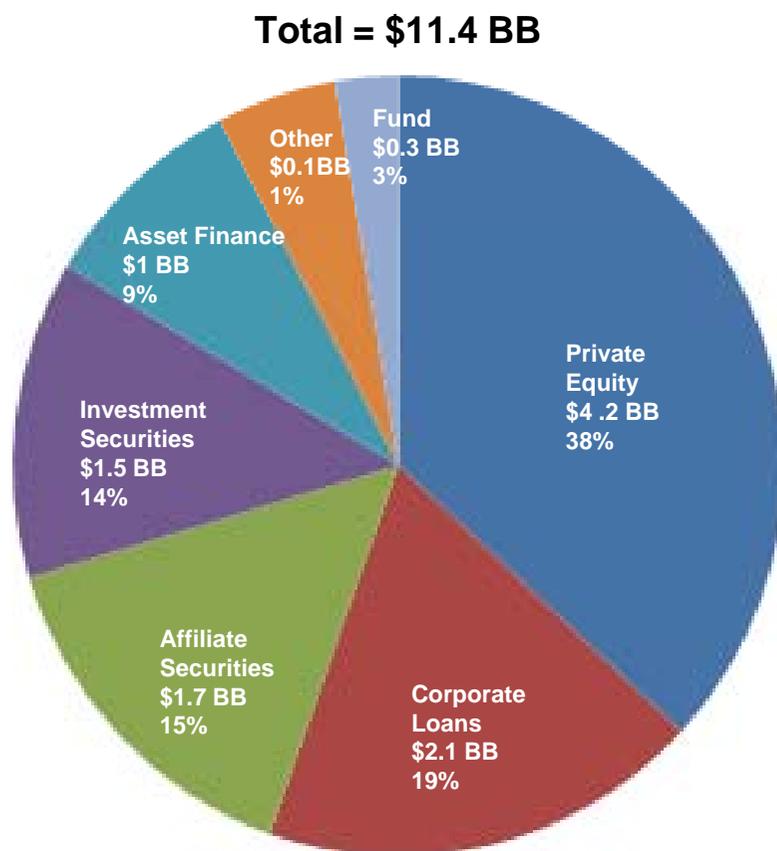
グローバル・マーケットの一人当たりVaR (千USD)



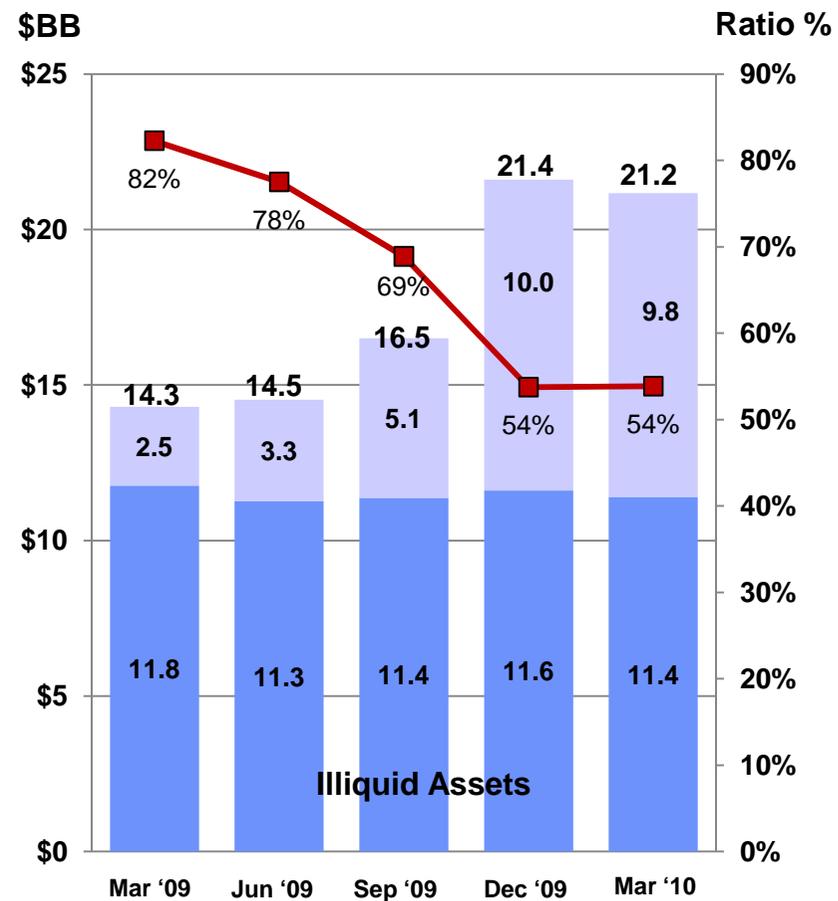
4. 低流動性資産の分析

- 2010年3月31日における野村の低流動性資産は一年前の118億USDから114億USDへ減少しました。一方、増資と黒字化により、野村のティア1資本はこの一年間で143億US\$から212億US\$へ69億US\$増加しています。この結果、ティア1資本との比較で低流動性資産が82%から54%へ大幅に減少しました。

低流動性資産の内訳



低流動性資産とティア1資本比率の推移



レベル3資産および低流動性資産と長期ファンディング

レベル3資産＋低流動性資産(2010年3月31日基準) 1.342兆円 143.4億USDル

株主資本 2.126兆円 227.3億USDル

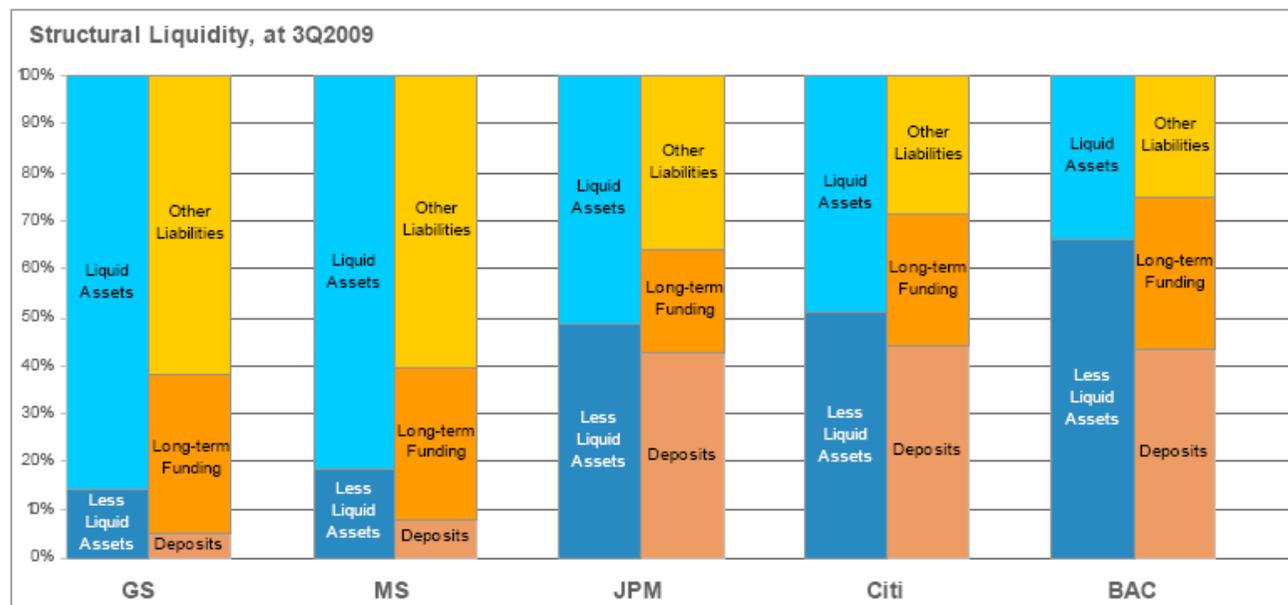
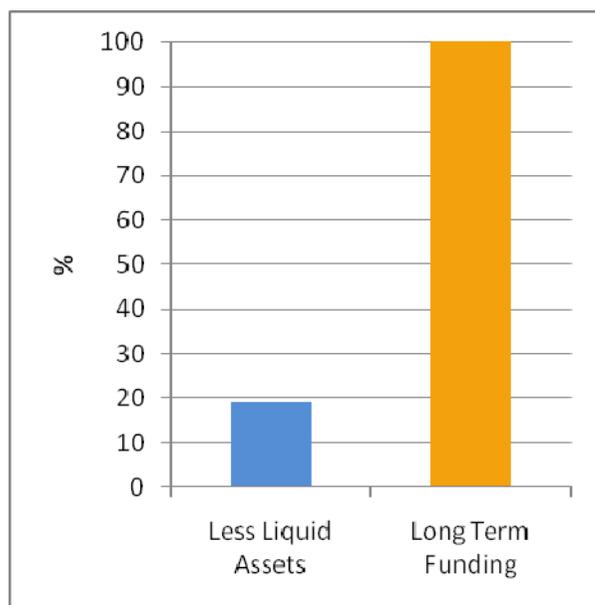
1年超での資金調達 5.056兆円 540.5億USDル

長期性資金(株主資本＋1年超の資金調達) 7.182兆円 767.7億USDル

レベル3資産＋低流動性資産
 ----- = 18.7%
 長期性資金

為替レート 1USDル=93.546円

Nomura as at March 31 2010



Source – special comment – An update – Ratings Challenges and Ratios for Wholesale Investment Banks - Moody's Global Banking December 2009

Nomura Holdings, Inc.
www.nomura.com/jp/